

いつも市民の目線で!!

“山さんのホームページ”

www.k-yamasan.com

寝屋川市議会議員

山崎 きくお



平成22年8月号 (第86号)

6月定例市議会で

地域交流センター条例を制定



いつも笑顔で元気な山さん

が約21億5000万円、合わせて約28億円が見込まれています。

指定管理者で管理運営

可決された「市立地域交流センター条例」は、次のような設置目的、管理運営の方法、事業の内容などを定めたものです。

＜センターの設置目的＞

この施設は、市民に文化活動と交流の場を提供すると共に、市民にふれあいを通じたにぎわいを創出するためのものです。

＜センターの事業＞

- ①文化活動と市民の交流の場を提供する。
- ②文化に関する発表会、鑑賞会、講演会等を開催する。
- ③市民が交流するための事業を企画・実施する。

＜センターの管理＞

一般より指定管理者（団体）を募集し、選考により選ばれた指定管理者が管理運営業務を行う、

＜センターの利用料金＞

例えば、メインホールを全日（9:00～22:00）使用する場合
土曜日・日曜日・休日は
一〇三、〇〇〇円

駐輪場の確保が重要課題

文教常任委員会の審議の中で、委員から「センター利用者用の駐輪場が確保されていない」との指摘があり、中西副市長と竹若教育長は「駐輪場対策については、万全を期します」と明言しました。

クリーンセンター建替え準備はじまる

現在の市クリーンセンター（ごみ処理施設）は、昭和五年九月に建設されたから既に三〇年が経過しました。

そして、かなり老朽化が進み、現在では毎年約2億円の修繕費用をかけながら運転しています。

そこで、市では平成二八年年度完成を目標にクリーンセンターを建替えることにし、今年四月に一五名で構成する「ごみ処理施設建設

基本計画審議会」を設置して、広く市民の代表などから意見を聴く作業を始めました。

建設場所が最大の課題

審議会では、現在、ごみ処理の現状や建替えの必要性などを審議中です。

しかし、今後、建替えには現在の施設を稼働しながら建設しなくてはならないため、どこに建替えるかが最大の課題となりそうです。

寝屋川市議会議員 山崎 きくお 事務所

〒572-0031 寝屋川市若葉町34番10号

TEL. 072-829-1900 E-mail. genkina@k-yamasan.com

大きな声で、元気なあいさつ!!
山さんのあいさつ運動

山さんの一般質問 ②

六月定例市議会で、私は今回も一般質問を行い、次のような主旨の質問を行いました。

(先月号の続き)

三、中学生の服装の乱れについて

【山さんの質問】

以前から月に1回地域の皆さんと中学校のあいさつ運動に参加しているが、最近、中学生の服装の乱れがとても気になる。あいさつをしない生徒も多い。遅刻する生徒も多い。これを、教育委員会はどのように捉えているのか。

【理事者の答弁】

「服装の乱れは心の乱れ」と言われるように、服装については生徒指導の基本事項として全教員で取り組んでいます。子どもたちの背景にあるものを見極めながら、常に家庭と連携を図り、何よりも子どもの自尊感情を高めることを

大切にし、場合によっては毅然とした態度で課題解決に努めてまいります。

四、一人暮らし高齢者の調査について

【山さんの質問】

社会福祉協議会では、二年に一回校区福祉委員会を通じて六五歳以上の高齢者を対象に「一人暮らし高齢者の調査」を行っている。

これは、高齢者対策や災害時の危機管理などの点からも非常に重要な調査である。

しかし、調査に当たる民生委員や自治会役員が大変苦勞している。

調査の重要性に鑑み、行政としてもっと積極的に協力すべきではないか。

【理事者の答弁】

一人暮らし高齢者の調査の重要性については認識しています。しかし、情報提供については、個人情報保護条例とのかかわりもあり、今後、研究してまいります。

「#(シャープ)7119」と「#(シャープ)8000」

「#7119」は、寝屋川市をはじめ府内16市で運営する「救急安心センターおおさか」の救急医療相談事業です。

- #7119（局番なし）は携帯電話、プッシュ式の固定電話から利用することができます。
- 市民からの救急医療相談を、365日、24時間、医師・看護師・相談員が受け付けます。
- 病気やケガの状態から緊急性や応急処置について助言します。
- 症状に応じた適切な医療機関を案内します。
- 救急車が必要と判断した場合には、消防本部へ転送し、救急車が出勤します。

「#8000」は、大阪府が実施している小児救急電話相談（こどもの救急電話相談）です。

- 夜間に急病の時、病院へ行った方が良いかどうか判断に迷った時などにご利用ください。
- 応答時間は午後8時から翌朝8時まで。
- 小児科医の支援体制の下に、看護師と保健師が相談に応じます。

山さんのコラム

気持ち次第で景色が変わる

私は、毎週月～金曜日の朝二時間、駅前で議会報告を配りながら「山さんのあいさつ運動」をしている。

しかし、毎日同じ二時間だが、日によって随分長く感じる日もあれば、とても短く感じる日もある。

天気の良い日は、たくさんの皆さんと元気なあいさつを交わし、あつと言う間に二時間が過ぎる。反対に天気の悪い日は、皆さんが何となく元気がなく、あいさつも少ない。そんな日は二時間がとても長く思える。

だが、先日ふと「元気がないのは、私自身である」ことに気がついた。私が勝手に「皆さんは元気がない」と思い込んでいたのだ。

それ以来、私の方から『大きな声で元気なあいさつ』を心がけている。今は、毎日あつと言う間に二時間が過ぎてしまうのが不思議である。